

7月の野菜

ブロッコリー



Let's 家庭菜園

営農課 ● 岩本 悠太

特徴

保水力があり有機質に富む土壌を好むため、良質の堆肥と油粕を十分に施すようにします。根は湿害に対して弱く病気の心配があるので、水たまりが生じないように畑の排水には注意が必要です。

栽培のポイント

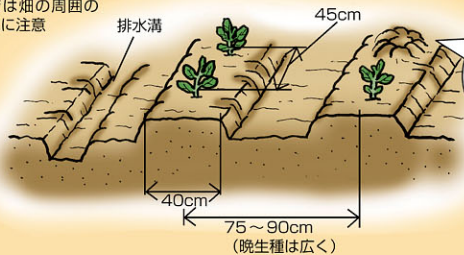
①品種によって耐暑性や耐寒性の強さが違うため、時期にあった品種を選びましょう。

②育苗中は風通しのよい涼しい場所が適し、晴天日の日差しを遮るよう寒冷紗やよしずなどをして温度の上昇を防ぎましょう。

③多肥を好むので、肥切れさせないように順次追肥することを心がけましょう。側花蕾を収穫する際、追肥は特に重要です。

④頂花蕾が10cmくらいになったら収穫します。側花蕾も次々につくので順次収穫します。とり遅れると蕾が開いてしまうので注意しましょう。

秋雨期を迎える作型では畑の周囲の排水に注意



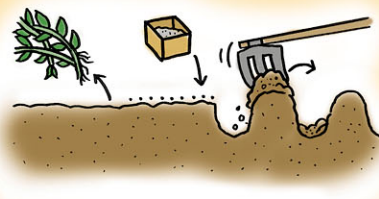
4 植えつけ



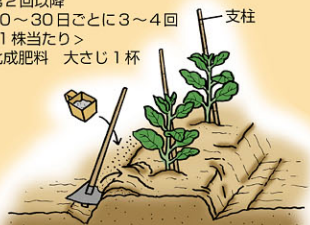
深植えは禁物
株元が少し高くなるように

前作が片づいたら、石灰を散布して20~30cmの深さによく耕す

1 畑の準備



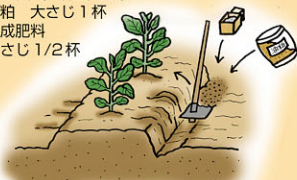
第2回以降
20~30日ごとに3~4回
<1株当たり>
化成肥料 大さじ1杯



前回と反対側に同様に施す
倒れやすい時期には支柱を立てる

5 追肥・中耕

第1回 (1株当たり)
油粕 大さじ1杯
化成肥料 大さじ1/2杯



畝の片側に軽く溝を掘って施す
土をやわらげながら畝に寄せ

セル成型育苗の場合
1穴に2~3粒まき、発芽そろいしたら間引いて、育ちのよいもの1株にする

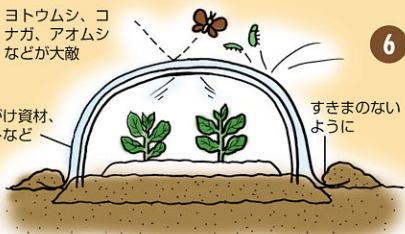
2 苗づくり



128穴のセルトレイ

ヨトウムシ、コナガ、アオムシなどが大敵

べたかけ資材、ネットなど

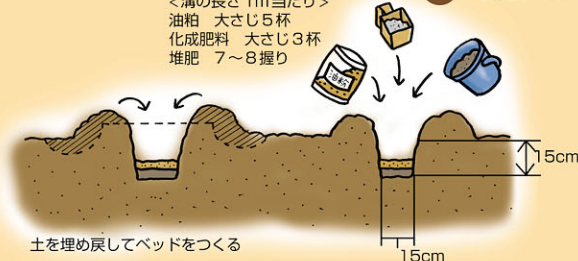


6 害虫防除

農業を使わないためには防虫ネットなどをトンネル状に覆う
すきまのないように

<溝の長さ1m当たり>
油粕 大さじ5杯
化成肥料 大さじ3杯
堆肥 7~8握り

3 元肥入れ



土を埋め戻してベッドをつくる

小さいが、まとめて使えば味に遜色はない



手やはさみで摘み取る



包丁で切り取る



7 収穫

株のまわりに追肥して勢いをつけ、よい側花蕾を出させる

項目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
種まき							7	8				
植えつけ									8	10		
収穫期											10	11

夏まき・冬どり栽培 (早植種)